第４講
東ヨーロッパ・CIS・カナダ［テキスト］

［１］　東ヨーロッパに位置するポーランド・チェコ・スロバキア・ハンガリー・ルーマニア・ブルガリアは，かつてソ連の影響の下で社会主義政権が成立していたが，1980年代末より自由化の波が訪れ，全て資本主義国へと転換した。６か国全てがEUおよびNATOに加盟している。

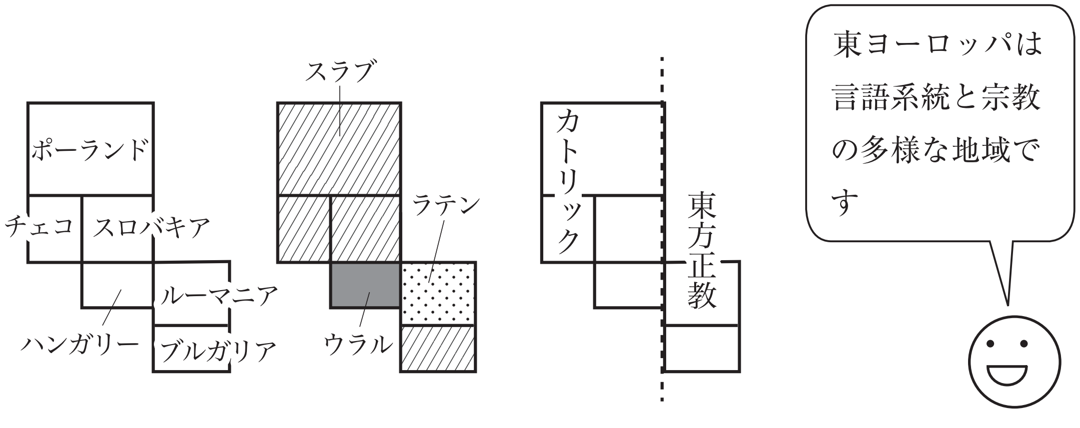
人口規模はポーランドが4000万人でルーマニアが2000万人だが，他の国は1000万人程度かそれ以下。１人当たりGNIはいずれも低く，西ヨーロッパから工場が進出することで，第２次産業就業人口割合が比較的高い。

言語系統と宗教によってキャラクター分けする。ポーランドがとくに重要。

・ポーランド・・・スラブ系・カトリック
・チェコ・・・スラブ系・カトリック
・スロバキア・・・スラブ系・カトリック
・ハンガリー・・・ウラル(アジア)系・カトリック
・ルーマニア・・・ラテン(ロマンス)系・東方正教
・ブルガリア・・・スラブ系・東方正教

ドナウ川は国際河川であり，東ヨーロッパを貫く。ウィーン(オーストリア)，ブダペスト(ハンガリー)，ベオグラード(セルビア)などが沿岸に立地。

カルパティア山脈はポーランド南部からルーマニアに至る険しい山脈。ヨーロッパにおいて，最も北に位置する新期造山帯である。



［２］　・ウクライナ・・・黒海北岸に位置する旧ソ連構成国。資源に恵まれ鉄鋼業が発達するほか，肥沃な土壌を利用した穀物の栽培も盛ん。

・バルト３国・・・エストニア・ラトビア・リトアニア。いずれも旧ソ連構成国だが，ソ連崩壊前に連邦を離脱し独立。CISには加盟せず，すでにEUの一員である。

・旧ユーゴスラビア・・・独自の社会主義路線をとる国であったが，1990年代前半に崩壊。現在は７つの国に分裂。西部のスロベニアやクロアチアではカトリック教徒が多く，東部のセルビアや北マケドニア(＊)などでは東方正教徒が多い。中部のボスニア・ヘルツェゴビナにはイスラム教徒も多く，多様な勢力が対立し内戦が生じた。コソボは近年セルビアから分離独立した国で，イスラム教徒が多い。

(＊)2019年にマケドニアから改称。

［３］　ロシアの都市について整理しよう。

・モスクワ・・・首都にして人口最大都市(1000万人以上)。政府機関を中心として放射環状路型の街路区画を有する。

・サンクトペテルブルク・・・ロシア第２の都市で，バルト海に接続するフィンランド湾に面する。ただし，冬季は凍結する。帝政ロシアの都であり，西ヨーロッパとの交流の窓口だった。

・イルクーツク・・・シベリア南部の都市で，バイカル湖に接する。製紙・パルプ工業やアルミニウム精錬が発達。最寒月平均気温－20℃，最暖月平均気温20℃，年降水量500mm(ただし，シベリア高気圧の影響で冬季の降水は極端に少ない)。イルクーツク付近が，永久凍土の南限である。

・オイミャコン・・・シベリア東部。北半球の寒極であり，最寒月の平均気温は－50℃にまで低下する。

・ウラジオストク・・・日本海に面する港湾都市で，シベリア鉄道の東側の起点。軍港として発達したが，港湾は冬季凍結する。

［4］　aはキエフでウクライナの首都。ウクライナは巨大な鉄山（図中のあ）と炭田（同じくい）を有し鉄鋼業が発達。チェルノーゼムに恵まれ，小麦やトウモロコシの栽培も。

bはバクーでアゼルバイジャンの首都。油田に近接。世界最大の湖であるカスピ海は原油や天然ガスの埋蔵が多く，周辺国の間で採掘権をめぐって対立も。

cはモスクワ，gはイルクーツクである。

［5］　旧ソ連の南部が中央アジアであり，カザフスタンやウズベキスタンが含まれる。少雨地域であり，北部でステップ，南部で砂漠となる。シルクロードに沿いイスラム教が伝えられた。ウズベキスタンの首都タシケントは交易都市として発展。現在は綿工業など。

図の右奥に注目。建物の側部に高い尖塔がみられるが，これはミナレットとよばれるもので，イスラム教の礼拝所モスクの一部。礼拝の時間になると，コーランの内容を吟じる者が，この塔へと昇る。

［6］　南北アメリカ大陸の先住民はモンゴロイド。最終氷期に陸化していたベーリング海峡（ユーラシア大陸と北アメリカ大陸の間）を伝って移動した。北極海沿岸がイヌイット（エスキモー），カナダ南部からアメリカ合衆国がアメリカインディアン，メキシコ以南（カリブ海含む）がインディオ。

［7］　カナダの自然環境。冷帯国でありタイガ（針葉樹の純林）に覆われているが，北極海沿岸はツンドラ。

太平洋岸にはフィヨルド海岸が広がるが，暖流の影響で温暖多雨となっている。西部は新期造山帯の険しい地形で，太平洋岸には火山もみられる。西経100度に沿う中央部は春小麦地帯。ウィニペグなど。五大湖周辺は大陸氷河に覆われ，酪農地帯となっている。北東部のラブラドル半島は楯状地(カナダ楯状地)。五大湖と大西洋をつなぐセントローレンス川の河口はエスチュアリーである。

［８］　カナダの言語と民族。カナダでは英語の使用人口が多いが，東部のケベック州はフランス系住民が多くフランス語が公用語とされている。

また，北部のヌナブト準州ではイヌイットによる自治が行われている。

［９］　カナダの都市。

・バンクーバー・・・太平洋岸の港湾都市で，木材の積出港として発展。暖流の影響によって冬季でも温暖。

・ウィニペグ・・・カナダ中央部。春小麦の集散地。最寒月平均気温－20℃（アンカレジより低温），最暖月平均気温20℃（サンフランシスコより高温），年降水量500mm。

・トロント・・・国内人口最大都市(600万人超)。五大湖に接し，アメリカ合衆国より自動車工場が進出。

・オタワ・・・首都。英語圏とフランス語圏の境界に位置。

・モントリオール・・・ケベック州の中心都市。フランス系住民が多い。人口は400万人を超えるが，経済は停滞。セントローレンス川に沿う。周辺では酪農。

［10］　・ムルマンスク・・・ロシアの港湾都市でノルウェーに近い。暖流の影響によって不凍港となる。

・アンカレジ・・・アラスカ州の中心都市。北極海沿岸で採掘された原油がパイプラインによって付近まで輸送されている。かつて日本とヨーロッパをつなぐ航空路の結節点だった。

第４講
東ヨーロッパ・CIS・カナダ［練習問題］

［１］（2007年度地理Ｂ追試験第４問問６）

次の①～④の文は，**図３**中の**Ｗ～Ｚ**で示された地点におけるいずれかの世界遺産について述べたものである。**Ｚ**の世界遺産に該当するものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

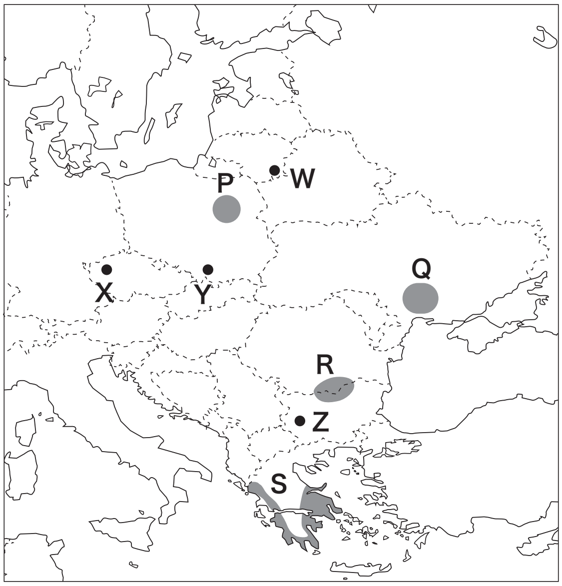


図　３

①　第二次世界大戦期に，ナチス・ドイツによってユダヤ人の大量虐殺が行われた強制収容所である。

②　東方正教系の国教の中心となる修道院であり，壁面には華麗なフレスコ画が描かれている。

③　９世紀に河岸の丘陵に城が築かれた都市で，ゴシック様式のカトリックの教会が多く，「百塔の街」ともよばれている。

④　中世にドイツ騎士団の進攻を受け，18世紀にはロシアに併合された国の首都で，カトリック，ロシア正教などの教会が多数みられる。

［2］（2009年度地理A本試験第3問問7）

次の**図4**中に示した**P**～**S**は，1990年以降，国家の形態や国家間結合のあり方に変化がみられた国々であり，下の①～④の文は**P**～**S**のいずれかについて説明したものである。**P**の国々に該当するものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

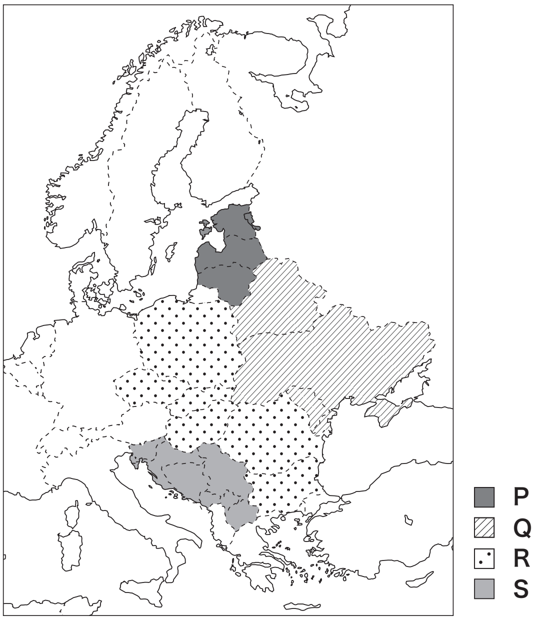


図　4

① かつてはソビエト連邦を構成する共和国であったが，現在はロシアを中心とする国家連合であるCIS(独立国家共同体)の加盟国である。

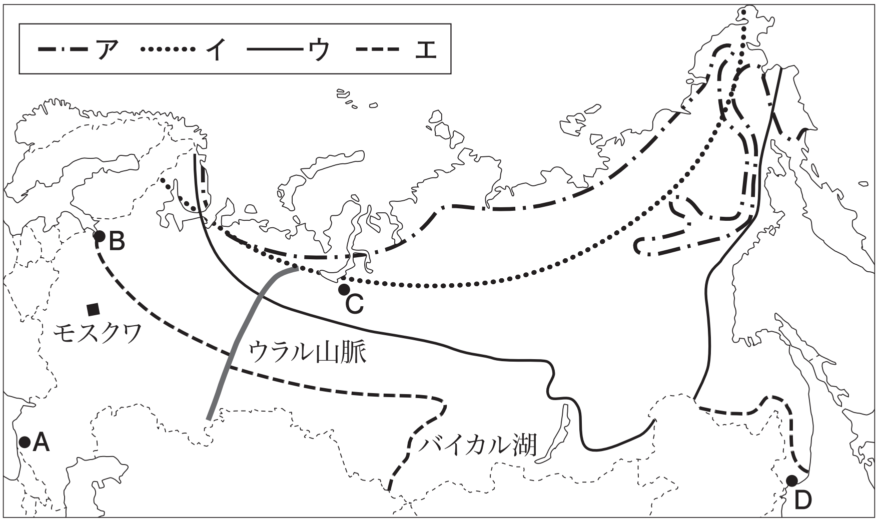
② かつてはソビエト連邦を構成する共和国であったが，以前敵対していた国々と現在は軍事同盟を結んでいる。

③ かつてはソビエト連邦を中心とする軍事同盟の加盟国であったが，以前敵対していた国々と現在は軍事同盟を結んでいる。

④ かつては一つの連邦国家であったが，複数の国家に分裂し，その一部の国は，以前敵対していた国々と現在は軍事同盟を結んでいる。

［３］（2018年度地理Ｂ追試験第４問問２）

次の①～④の文は，**図１**中に示した**Ａ～Ｄ**のいずれかの地域における特徴を述べたものである。**図１**中の**Ｂ**に該当するものを，次の①～④のうちから一つ選べ。



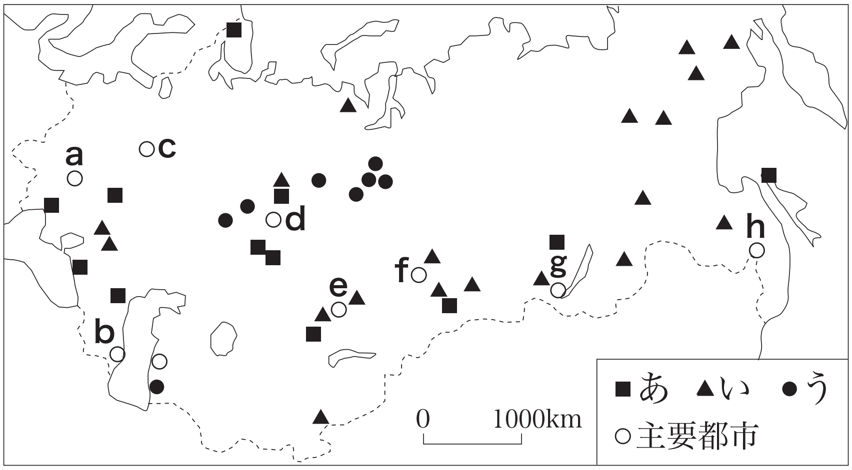
Diercke Weltatlas, 2008 などにより作成。

図　1

① 寒冷な気候のもとで，少数民族によるトナカイの遊牧が行われている。
② 自然資源を利用した軽工業が盛んで，シベリア鉄道の起点・終点でもある。
③ 湿地を開発した港を中心に，国内第２位の人口をもつ都市圏が広がる。
④ 比較的温暖な気候を利用した世界有数のリゾート地である。

［4］（1991年度地理追試験第5問問4改訂）

次の文章は，ある工業地域について述べたものである。この工業地域の代表的都市を**図1**中から選び，これに該当するものを下の①～④のうちから一つ選べ。



「ディルケ 世界地図帳」による。

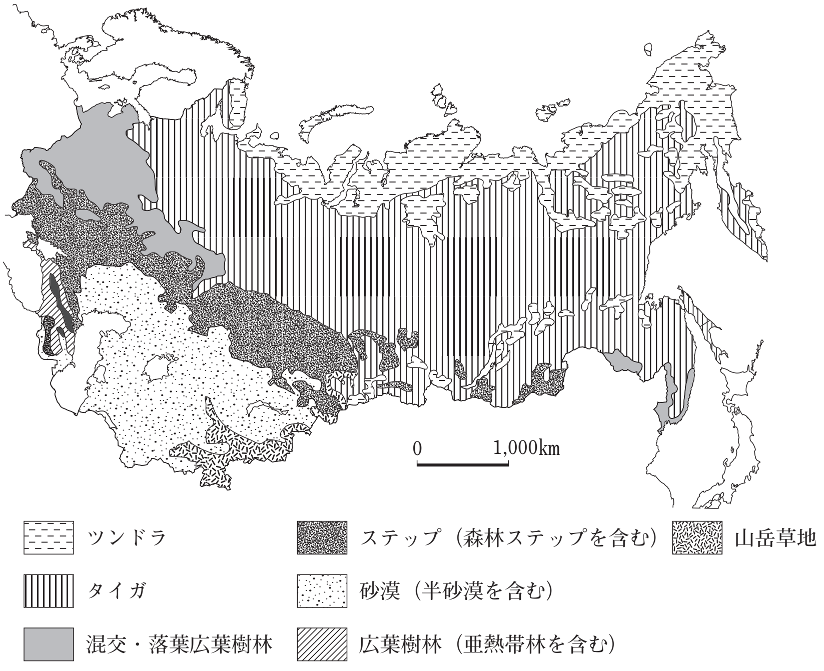
図 1

大河川の支流の上流部と湖の周辺部に広がる。豊富な水力と林産資源を基礎に工業が発達し，現在では，製鉄・機械・アルミニウム・製材などの工業がみられる。

① a
② b
③ c
④ g

［5］（1998年度地理Ａ追試験第２問問７）

次の**写真２**は，**図１**中の砂漠地帯のあるオアシス都市で写したものである。この写真あるいはその付近の説明として最も適当なものを，下の文の①～④のうちから一つ選べ。



「アトラス現代のソ連邦」により作成。

図　1

写真　2

（編集上の都合により類似のイラストに差し替えてあります。）

① シルクロードの交易で栄えた時代の伝統を受け継ぐバザールであり，ときおりコーランの一節をよむ声が聞こえてきた。

② 衣料品や食器などに加えて，香辛料やマンゴー，パイナップルなどの特産品も売られていた。

③ 羊肉や鳥肉などが大量に並べられ，名物の豚肉の串焼きは人気が高かった。

④ 付近は社交場であり，その土地に住む年老いた男性が数人ずつまとまり酒を飲みながらおしゃべりしていた。

［６］（2004年度地理Ａ本試験第１問問１）

次の文章Ｊ～Ｌは，**図１**中のＡ～Ｃ地点付近のいずれかを居住地としてきた，代表的な先住民について説明している。Ｊ～ＬとＡ～Ｃとの組合せとして最も適当なものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

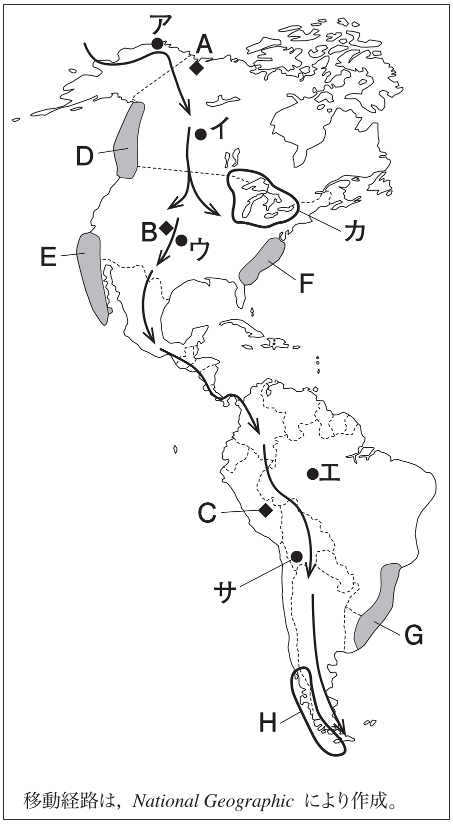


図　１

Ｊ　広範囲に居住し，狩猟など独自の文化を発達させたが，後の移住者に土地を追われ，人口が激減した。現在は居留区（保護区）が設けられている。

Ｋ　山岳地帯を中心に高度な文明を発達させたが，後の移住者による支配を受けた。先住民の生活の改善をめざして，農地改革が行われてきた。

Ｌ　厳しい自然環境に対応し，短い夏季を中心に狩猟・漁労を行ってきた。近年では，外来文化に接触し，生活様式を変化させている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
J	A	A	B	B	C	C
K	B	C	A	C	A	B
L	C	B	C	A	B	A

［７］（2009年度地理Ｂ本試験第５問問１）

次の**図１**中の**Ａ**～**Ｄ**の地域でみられる自然環境の特徴について述べた文として適当でないものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

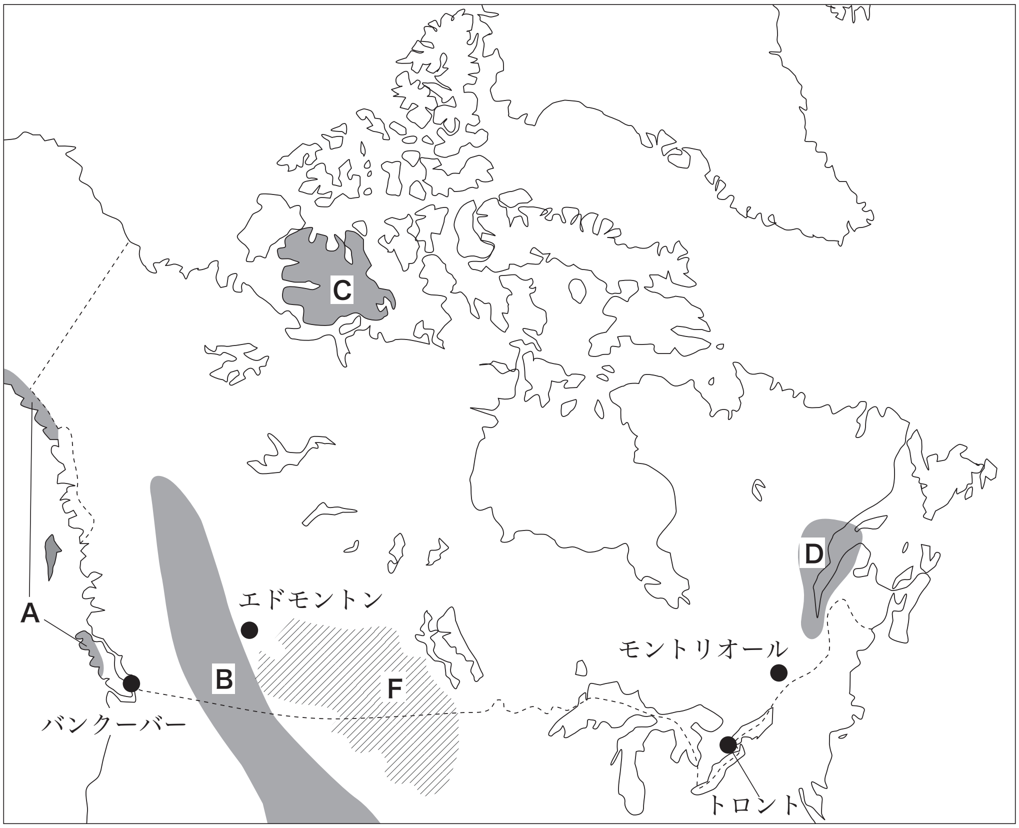


図　１

① **Ａ**の地域は，西岸海洋性気候区に属する。

② **Ｂ**の地域は，新期造山帯の山脈に属する。

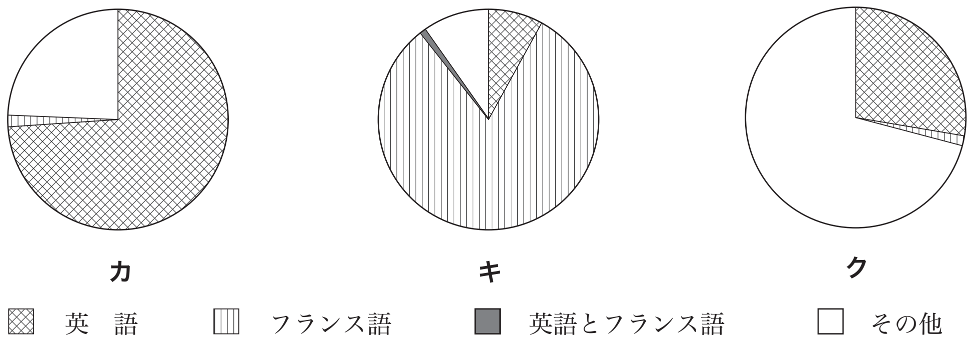
③ **Ｃ**の地域には，針葉樹林（タイガ）が広く分布する。

④ **Ｄ**の地域には，三角江（エスチュアリー）がある。

［8］（2009年度地理B本試験第5問問5）

次の**図3**中の**カ**〜**ク**は，下の**図4**中の**P**〜**R**のいずれかの州あるいは準州における母語(＊)別人口の割合を示したものである。**カ**〜**ク**と**P**〜**R**との正しい組合せを，下の①〜⑥のうちから一つ選べ。

(＊)幼児期に親などから初めて習得する言語。



統計年次は2001年。

Census of Canada により作成。

図　3

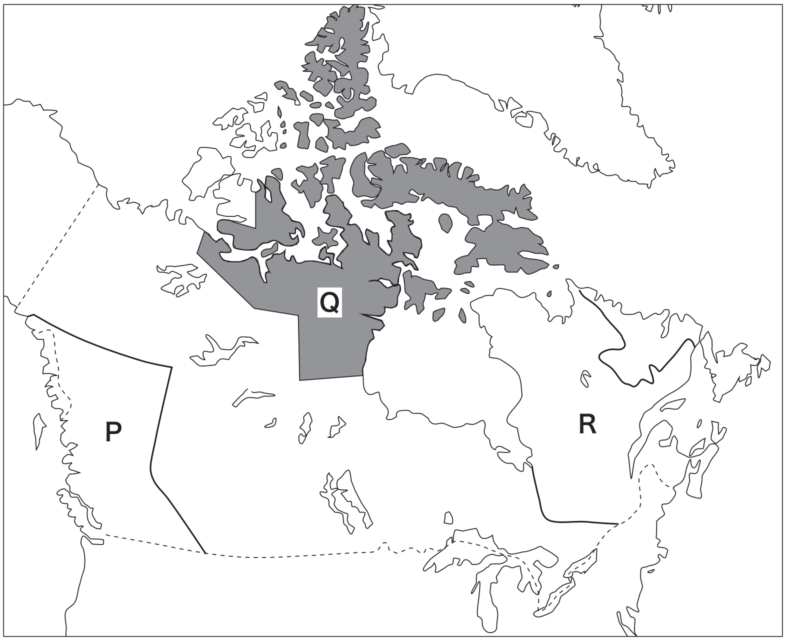


図　4

	カ	キ	ク
①	P	Q	R
②	P	R	Q
③	Q	P	R
④	Q	R	P
⑤	R	P	Q
⑥	R	Q	P

［９］（2004年度地理Ｂ追試験第３問問７）

次の**図３**中の**Ｗ**～**Ｚ**は，カナダにおける主要な４都市を示したものであり，ウィニペグ，オタワ，カルガリー，トロントのいずれかである。都市**Ｗ**～**Ｚ**について述べた文として適当でないものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

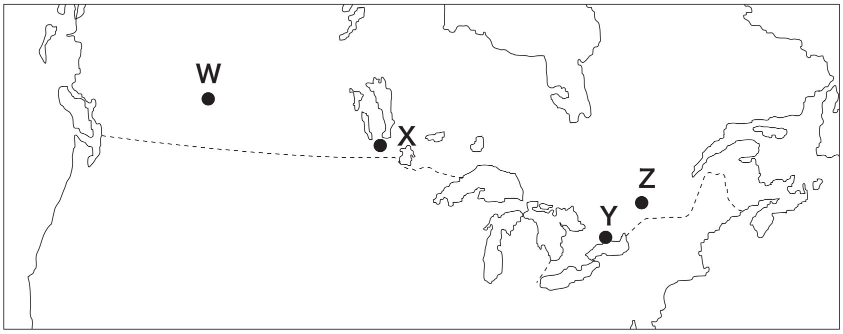


図　３

①　都市**Ｗ**は，新期造山帯に属する山脈の東麓(とうろく)に位置し，石油や天然ガスの主要な産出地となっている。

②　都市**Ｘ**は，春小麦地帯の東端に位置し，小麦の集散地や鉄道交通の要衝(ようしょう)となっている。

③　都市**Ｙ**は，カナダのフランス語圏における最大の都市であり，この国における経済活動の中心となっている。

④　都市**Ｚ**は，ケベック州とオンタリオ州との境界付近に位置しており，カナダにおける政治の中心となっている。

[10]　(2015年度地理Ｂ追試験第４問問４)

次の①～④は，**図１**中のアンカレジ，ナルヴィク，ムルマンスク，レイキャビクのいずれかの都市の特徴を述べたものである。ムルマンスクに該当するものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

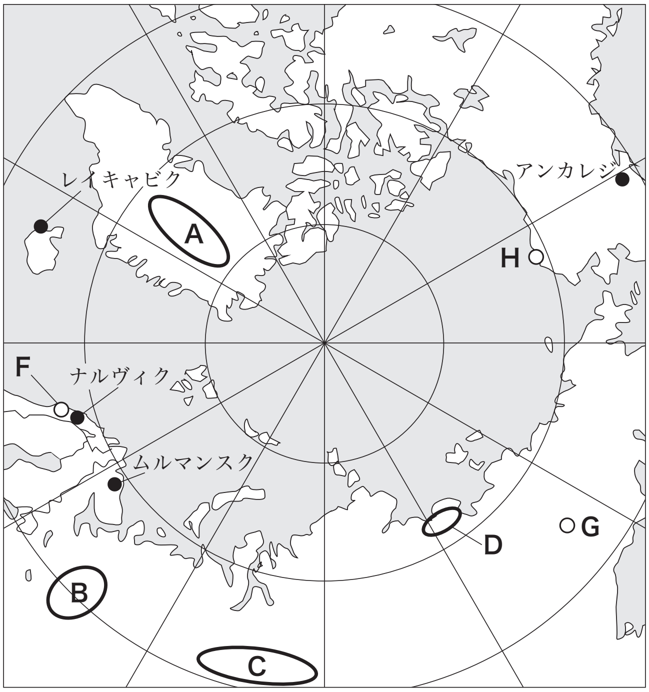


図　1

① 軍港として整備された不凍港があり，トロール漁業の基地としても発展している。

② 国内最大の人口を有し，自然環境や温泉施設などを活用した観光の拠点となっている。

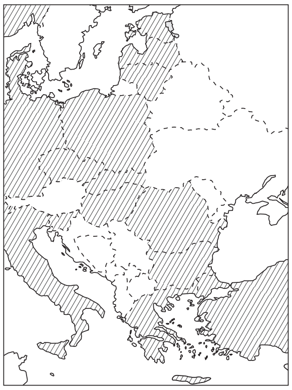
③ 水産業や林業，石油工業が立地し，国際空港をいかした旅客輸送の重要な中継基地であった。

④ 隣国で産出される鉄鉱石を運び出すために鉄道や港湾施設が整備され，積出港として機能している。

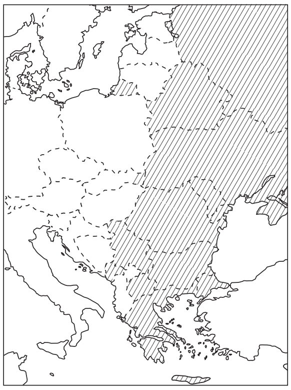
第４講
東ヨーロッパ・CIS・カナダ［発展問題］

［１］ (2005年度地理Ａ追試験第２問問６)

次の**図２**中の①～④は，東方正教が主な宗教である国，ラテン語(ロマンス語)派の言語が主な言語である国，CIS(独立国家共同体)の加盟国，NATO(北大西洋条約機構)の加盟国のいずれかを斜線で示したものである。東方正教が主な宗教である国を示したものを，**図２**中の①～④のうちから一つ選べ。

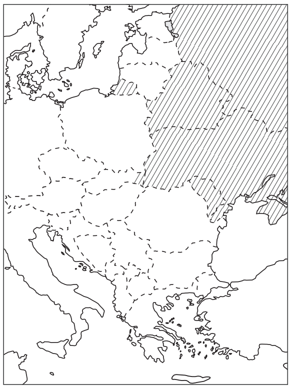


①



②

③



④

図　２

［2］（2001年度地理Ｂ追試験第１問問１）

旧ソ連地域の自然環境について述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

図　1

① この地域の大半は，安定陸塊と古期造山帯からなるが，太平洋沿岸やカフカス（コーカサス）地域では，地震や火山の活動もみられる。

② 黒海北岸から東にのびる穀倉地帯の土壌は肥沃（ひよく）なチェルノーゼムである。

③ ロシアに接する海域は，黒海沿岸を除いて，冬の期間，流氷や結氷によって閉ざされる。

④ 永久凍土は，ツンドラ地帯のみでなくタイガ地帯にも分布している。

［**３**］（2013年度地理Ａ追試験第３問問５）

次の**図２**は，**図１**中の**Ｐ～Ｓ**のいずれかの都市について，18世紀の景観を描いた銅版画であり，下の文章はこの都市を説明したものである。**図２**に描かれた都市に該当するものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

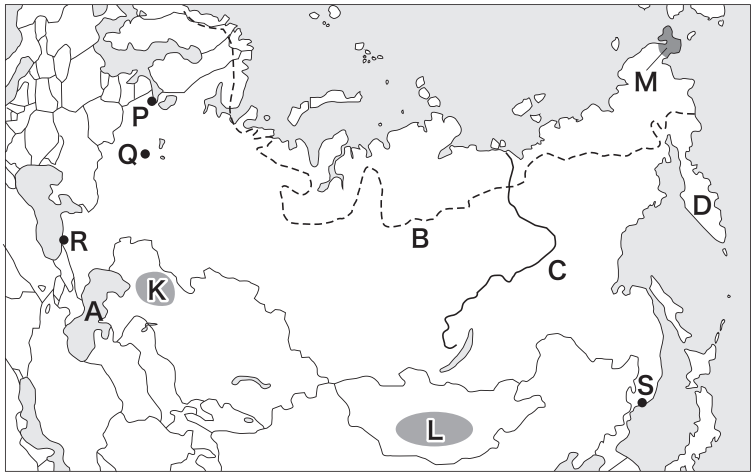


図　１

図　２

（編集上の都合により類似のイラストに差し替えてあります。）

この都市は，帝政ロシア時代に建設された。フランスの都市計画と建築の様式が導入され，湿地帯に運河網が張り巡らされた。銅版画の正面にはイギリス国旗を掲げた商船が描かれており，この都市がロシアの「ヨーロッパへの窓」としての役割を果たしたことを示している。

①　**Ｐ**　　②　**Ｑ**　　③　**Ｒ**　　④　**Ｓ**

［４］（2011年度地理Ａ追試験第３問問４）

図１中に示した**タ**～**テ**のいずれかの地域における自然環境と産業・生活との関連について述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

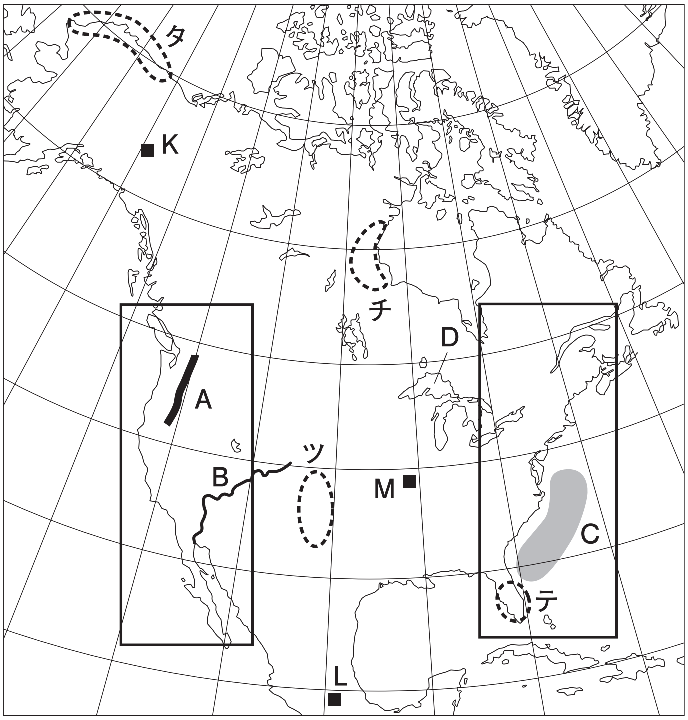


図　1

①　**タ**の地域は，北極圏に位置し寒冷なため農業に適さないが，油田や鉱産資源に恵まれている。

②　**チ**の地域では，寒冷で平坦な地域が広がるため，春に種子をまいて秋に収穫する春小麦の栽培が盛んである。

③　**ツ**の地域は，乾燥した気候条件にあるが，豊富な地下水と肥沃な土壌をいかした灌漑農業が盛んである。

④　**テ**の地域では，温暖な気候条件をいかした園芸農業が盛んであるほか，海岸沿いには保養地もみられる。

［５］（2011年度地理Ａ追試験第４問問５）

北アメリカ大陸の人の移動，社会・文化について述べた文として下線部が適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 北アメリカ大陸の先住民は，太平洋を船で移動してきたオーストラロイドの子孫と考えられており，その一部は北極海沿岸に居住し，現在はイヌイット(エスキモー)とよばれている。

② 北アメリカ大陸では，ヨーロッパ各地から人々が入植した結果，イギリス領，スペイン領，フランス領などに分かれていたが，現在もその名残が地名などにみられる。

③ アメリカ合衆国独立の中心となったイギリス出身者の多くは，白人でアングロサクソンのプロテスタントであることからWASP(ワスプ)とよばれ，社会の中枢をになってきた。

④ アメリカ合衆国に居住するアフリカ系の黒人の多くは，かつて労働力として強制的に連れてこられた人々の子孫であるが，現在ではスポーツ・芸能分野や政府の中枢で活躍する人々もいる。

第４講
東ヨーロッパ・CIS・カナダ［練習問題］解答

［1］正解；②

Zが位置するのはブルガリアであり，東方正教が主に信仰される地域。②が該当する。

他はポーランド南部のYが重要で，アウシュビッツのユダヤ人強制収容所である。①が該当。Xが位置するのはチェコであり，カトリック信者も多い国である。③が該当。Wはバルト３国に含まれ，ここは旧ソ連の一部であるなど，歴史的にロシアからの侵略を受けた地域。④が該当。

［2］正解；②

Pのバルト３国（北より，エストニア，ラトビア，リトアニア）は②。旧ソ連の一部であったが，CISには参加せず，すでにEU加盟を果たしている。「以前敵対していた国々」とは西ヨーロッパ諸国であるが，現在は彼らを中心とした軍事組織のNATOにも加盟している。

Qのベラルーシやウクライナなどは①。旧ソ連構成国でCISにも加盟している（ウクライナは現在脱退を宣言）。

Rのポーランドやハンガリー，ルーマニアなどの東ヨーロッパ諸国は③。かつてソ連の影響下にあり，軍事同盟であるワルシャワ条約機構に加盟していたが，ソ連崩壊とともにそれも解消され，現在はNATOに加盟している。

Sの旧ユーゴスラビアは④。連邦国家を形成していた。独自の社会主義体制をとり，西ヨーロッパ諸国と対立していたが，現在はスロベニアなどNATOに加盟する国もある。

［3］正解；③

Bはロシア第２の都市サンクトペテルブルク。帝政ロシア時代の都であり，フランスなど西ヨーロッパ諸国との交流はこの港湾都市を通して行われていた。③が該当する。なお，ソ連時代にはレニングラードと称されていた。

Ａはソチ。黒海に面するリゾート地。冬季オリンピックも開催された。④が該当。

Ｃはニダ。北極海へと注ぐオビ川の河口に位置し，極めて寒冷な気候がみられる。農耕には適さず，少数民族によってトナカイの遊牧が行われている。①が該当。

Ｄはウラジオストク。シベリア鉄道の日本海側の起点。木材資源に恵まれ，パルプ・製紙業が発達。②が該当。

［４］正解；④

バイカル湖の南部に接するｇはイルクーツク。シベリア南部の代表的な都市で，シベリア鉄道の中継地でもある。森林資源に恵まれパルプ・製紙工業が発達しているほか，豊富な水力資源から得られた電力によりアルミニウム精錬も盛んに行われている。

ａはキエフ。ウクライナの首都。ウクライナは自然環境や鉱産資源に恵まれ，重工業や小麦を中心とした大規模農業で知られる国である。しかし，ロシア系住民が多い東部(クリミア半島など)で分離を求める運動がみられるなど，不穏な状況は続いている。

ｂはバクー。アゼルバイジャンの首都。カスピ海に面し，大規模な油田を有する。

ｃはモスクワ。ロシアの首都にして国内人口最大都市。総合的な都市型工業が発達。

［５］正解；①

図１中の砂漠地帯は中央アジアに含まれる(ウズベキスタンなど)。シルクロードが東西にこの地域を貫き，アラブ商人たちによってイスラム教が伝えられた。イスラム教の聖典であるコーランがキーワードとなり，①が正解。なお，図の右奥の建物は特徴的な尖塔(ミナレット)がみられることからイスラム教の礼拝所モスクであることがわかる。

②；マンゴーやパイナップルは湿潤地域の作物。

③；イスラム教徒の生活においては豚は嫌悪され，肉も食されない。

④；イスラム教ではアルコールを摂ることは禁じられている。社交場で男性が楽しむのは水タバコであることが多い。

［６］正解；④

Ａの北極海に面する地域に住むのはイヌイット(エスキモー)。伝統的な住居は氷でつくられ(イグルー)，アザラシを狩猟するなどして生活している。Ｌに該当。

Ｂの北アメリカ大陸中央部に分布するのはアメリカインディアン。豊かな森林地帯で暮らしていたが，ヨーロッパからの移住者に生活の場を追われ，乾燥地域を中心に設けられた居留区に封じ込められた者も多い。Ｊに該当。

ラテンアメリカに広く分布するのはインディオ。Ｃのアンデス高原にはインカ帝国が版図を広げていた。しかし，スペインによって侵略され，大土地所有制によるヨーロッパ系の人々の支配の下，インディオは貧困な生活を強いられることになった。文章にある「農地改革」によって，貧しい先住系の人々にも土地が与えられることになったが，まだまだ貧富の差は大きい。Ｋに該当。

［７］正解；③

Ｃの北極海に面する地域はツンドラである。氷雪に覆われ，短い夏の間だけ氷が解けた地表面に地衣・蘚苔類が繁茂する。一部でトナカイの遊牧が行われているが，農耕は不可能である。カナダは針葉樹が豊富なことで知られる国であるが，針葉樹林の分布は北極海沿岸には及ばない。

Ａ；沿岸を北上する暖流(アラスカ海流)の影響により冬季でも温暖。温帯気候である西岸海洋性気候がみられる。

Ｂ；新期造山帯であるロッキー山脈が走行する。

Ｄ；セントローレンス川の河口はエスチュアリーとなっている。エスチュアリーの奥に接するケベックは天然の良港を有する。

［８］正解；②

カナダは多文化主義の国であり，英語とフランス語が公用語とされている。とくに東部のケベック州(Ｒ)はフランス系住民が多く，フランス語が一般に使用される。キがＲ。Ｑはヌナブト準州。イヌイットが自治を行っており，その文化が尊重され，彼らの言語が通用している。「その他」をイヌイットの言語と考え，クがＱに該当。正解は②。なお，Ｐはブリティッシュコロンビア州であるが，カナダの多くの州と同様に英語が主に使用されている。

［９］正解；③

五大湖に接するＹは，カナダの人口最大都市トロント。アメリカ合衆国と関係が深く，自動車工業が発達している。英語圏に含まれ（だからこそアメリカ合衆国から企業・工場が進出しやすいことを考える），「フランス語圏」ではない。

①はカルガリー。カルガリーが位置するアルバータ州は原油や天然ガスなどの資源が豊富。

②はウィニペグ。北アメリカのほぼ中央に位置し，典型的な大陸性気候がみられる。肥沃な土壌に恵まれ，大規模な小麦農業が行われる。

④はオタワ。ケベック州（フランス語圏。モントリオールやケベックが含まれる）とオンタリオ州（英語圏。トロントが含まれる）の境界に位置する首都。人口は少ないが，計画的に建設された政治都市ではないので注意。

[10] 正解；①

消去法で考えよう。極めて重要なのはナルヴィク。北極圏に位置するが暖流の影響で不凍港となっており，スウェーデン北部で産出される鉄鉱石がここまで運ばれ，港から搬出される（スウェーデンの面するバルト海側の港湾は凍結する）。④が該当。

さらに②の「国内最大の人口」に注目。アンカレジはアメリカ合衆国，ムルマンスクはロシアに属し，それぞれ人口最大都市はニューヨークとモスクワ。アイスランドの首都であるレイキャビクのみがこの条件に該当する。アイスランドは人口30万人の小国。レイキャビクが②。

そして③であるが「国際空港」に注目しよう。冷戦時代，日本からヨーロッパに向かう航空機は，当時政治的に対立関係にあったソ連（ロシアなど）上空を通過できないため，アンカレジを経由する必要があった。航空交通の拠点として非常に重要な都市であり，日本からヨーロッパへの直行便が就航する現在も，その地位はやや低下したものの，航空路の中継地の一つではある。またアンカレジの含まれるアラスカ州は，原油産出の多い州であり，アンカレジはじめ州内の諸都市では石油関連産業も発達。なお，北極海沿岸のプルドーベイ油田から太平洋岸のバルディーズまで，トランス・アラスカ・パイプラインが敷設され原油が送られている。アンカレジが③に該当。

消去法でムルマンスクは①である。暖流の影響によって冬季でも凍結しないのはナルヴィクと共通する。また，第二次世界大戦時はアメリカ合衆国からの支援物資がこの港に届くなど，軍事的に非常に重要な位置にある。漁業も発達。

第４講
東ヨーロッパ・CIS・カナダ［発展問題］解答

［１］正解；②

③の判定が容易。ラテン語(ロマンス語)系の代表的な国はイタリア。イタリアが含まれる①か②のいずれかが「ラテン語系」になるが，①にはスラブ系の言語を使用するポーランドも含まれている点に注目。③が「ラテン語(ロマンス語)派」となる。

さらに④に注目。国は少なく，ロシアやベラルーシなどに限られる。旧ソ連構成国のうち，バルト３国が外れており，「CIS」である。

残った①と②の判定だが，ポーランドに注目しよう。ポーランドはカトリック教徒が多数を占める国であることから，ポーランドが含まれていない②が「東方正教」である。ロシアやウクライナのほか，旧ユーゴスラビア東部の国々やギリシャが含まれている。

残った①が「NATO」。NATO(北大西洋条約機構)とは，アメリカ合衆国や西ヨーロッパ，トルコを中心とした軍事同盟であるが，現在はポーランドなど東ヨーロッパ諸国の多くも加盟している。なお，問題が出題された時点では未加盟だったが現在はアルバニア，クロアチア，モンテネグロ，北マケドニアもNATOの一員である。

［２］正解；③

ノルウェーに接するコラ半島の北極海沿岸は，暖流の北大西洋海流が流れ込むことによって冬でも水温が高い。ムルマンスクは不凍港となる。なお，ウラジオストクは１月の平均気温も低く，こちらは凍結する。

①；ロシアは広く安定陸塊だが，ウラル山脈は古期造山帯，カフカス山脈や太平洋岸は新期造山帯。とくに日本の北東に位置するカムチャツカ半島やクリル諸島には火山も多い。

②；黒海北岸から東方に連なるステップ気候の地域には，肥沃なチェルノーゼムが広がる。

④；永久凍土がみられる範囲はシベリアの広い範囲に及ぶ。シベリア南部のバ

イカル湖周辺などは夏季の気温は比較的高いが，冬季の気温が極めて低いため，年間を通じて地下の凍土層が融解しないのだ。

［3］正解；①

サンクトペテルブルクである。バルト海に近接し，フランスやイギリスとの交流も盛んだった。ただし，バルト海は冬季に凍結するため，不凍港であるムルマンスク（北極海に面する）の重要性が高い。

［4］正解；②

チの地域は北極海に接続するハドソン湾に面し，寒冷であるため農業は行われない。ツンドラが広がり，一部で狩猟や遊牧が行われる程度。春小麦はウィニペグを中心とした中央部の平原地帯で栽培される。

①；**タ**のアラスカ州北極海沿岸には油田やガス田が分布する。パイプラインによって太平洋岸まで運ばれ，輸送される。

③；**ツ**は，ロッキー山脈の東麓に広がる大平原で，グレートプレーンズとよばれる。やや降水量が少なく（アメリカ合衆国の中央を年降水量500mmの等値線が縦断し，これは西経100°の経線とほぼ重なる），企業的牧畜のほか，地下水を利用した灌漑農業（センターピボット農法）も行われている。ただし，地下水の枯渇による地盤沈下，過剰な灌漑による塩害の発生などの問題も生じる。

④；**テ**はフロリダ半島。亜熱帯〜熱帯の気候がみられ，都市出荷用のオレンジの栽培などもみられる（園芸農業）。リゾート地も多い。

［5］正解；①

「オーストラロイド」とはオーストラリア大陸の先住民でアボリジニーなど。正しくは「モンゴロイド」である。

②；多くがイギリスからの移民による英語起源の地名だが，フランス国王の名前から名付けられたルイジアナ，スペイン語に起源のあるカリフォルニアなどの地名もある。

③；初期に入植したイギリス系の人々は，現在のアメリカ社会でもエリート層を成す。WASPとよばれる。

④；ギニア湾岸にルーツのあるアフリカ系の人々は身体能力に優れ，優れたスポーツ選手が多い。また，芸術的素養を発揮する者も多く，音楽などの分野で活躍している。

〈Note〉